

西洋中世学会第 13 回大会プログラム

オンライン開催

2021 年 6 月 19 (土) - 20 日 (日)

6 月 19 日 (土)

10:00- 常任委員会 (会長、副会長、委員および事務局関係者のみ出席)

自由論題報告

13:00-13:45

阿部 晃平 Kouhei ABE (立教大学大学院) 司会: 岡崎 敦 (九州大学)

知識をいかに体系づけるか? —9 世紀のヴァランシエンヌ写本—

13:45-14:30

伊丹 聡一郎 Soichiro ITAMI (明治大学大学院) 司会: 宮野 裕 (岐阜聖徳学園大学)

ノヴゴロド人河川賊「ウシクイニク」の活動から見る 14-15 世紀ロシアの諸状況

休憩 15m

14:45-15:30

徳永 聡子 Satoko TOKUNAGA (慶應義塾大学) 司会: 不破 有理 (慶應義塾大学)

Oxford, MS Bodley 283 をめぐる書物ネットワーク—頭文字からの再考—

15:30 -16:15

杉山 美耶子 Miyako SUGIYAMA (日本学術振興会特別研究員)

司会: 小池 寿子 (國學院大學)

ヤン・ファン・エイクと工房作《磔刑》《最後の審判》—骸骨の銘文を中心に—

休憩 15m

16:30-17:15

村松 綾 Aya MURAMATSU (東京国立博物館) 司会: 木俣元一 (名古屋大学)

16 世紀バーゼルの金工コレクション形成にみる交流と流通

—ニュルンベルク由来鑄造作品を中心に—

6月20日(日)

9:30-11:45

ポスター・セッション

(個別ポスター報告タイトルおよび要旨: 別紙参照)

昼食休憩

13:00-16:40

シンポジウム 異端の眼、異端を見る眼

コーディネーター: 草生久嗣・有田豊

13:00-13:10

趣旨説明 草生久嗣 Hisatsugu KUSABU (大阪市立大学)

13:10-13:35

パネル報告① 坂田奈々絵 Nanae SAKATA (清泉女子大学)

正統性の定義/異端へのまなざし—レランスのウインケンティウスを例として—

13:40-14:05

パネル報告② 草生久嗣 Hisatsugu KUSABU (大阪市立大学)

ビザンツ帝国の異端学—異端誌としてのパノプリア文典—

14:10-14:35

パネル報告③ 菊地達也 Tatsuya KIKUCHI (東京大学)

イスラム教分派学と異端/異教

休憩 10m

14:45-15:10

パネル報告④ 細田あや子 Ayako HOSODA (新潟大学)

異端的図像学の可能性

15:15-15:40

パネル報告⑤ 有田豊 Yutaka ARITA (立命館大学)

「異端」の眼から見た「正統」の姿
—中世ヴァルド派詩編におけるカトリック教会のイメージ—

休憩 10m

15:50-16:30 ディスカッション

16:30-16:40 閉会・全体まとめ

草生久嗣 Hisatsugu KUSABU (大阪市立大学)

16:45

中世学会賞およびポスター賞の発表および授賞式

[17:00- 予備の報告時間枠: 自由論題報告等が通信の不調等でうまくいかなかった場合のため]